

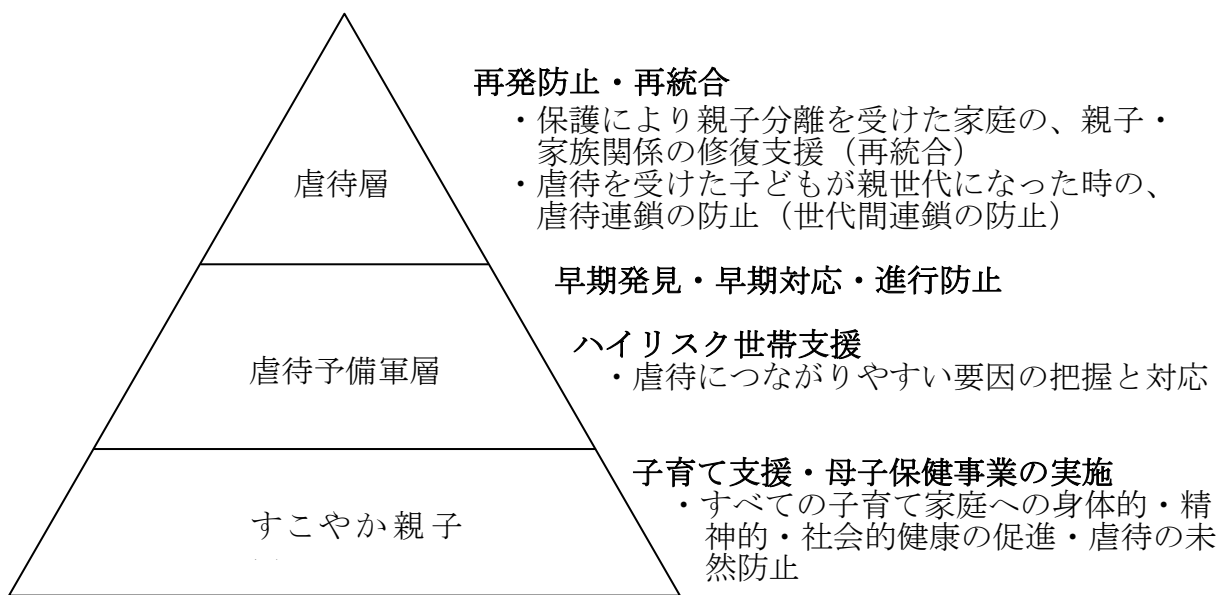
社会養護検討部会での協議事項について

子どもの命と尊厳を守り、ひとりひとりが健やかに成長できる出雲市をめざし、すべての子どもや子育て家庭を対象に子ども・子育て支援事業について検討する。

1. 出雲市の子育て支援について検討する。

現状をもとに、子育ての状態を3つの層に分類し、必要な支援を検討する。

【3つの子育て層】



【虐待層】

平成24年度、新たに虐待認定された件数は、児童相談所と出雲市を合わせて99件（児童相談所57件／市52件／両者重複ケース10件）あり、240件の支援進行管理を行っている現状がある。そのため、虐待を早期に発見し、継続的な支援をしていく必要がある。

また、支援によって虐待の進行や再発を防ぐこと、子どもが保護を受けた場合には家庭への復帰に伴う支援が必要である。

【虐待予備軍層】

平成24年度、虐待認定に至らない相談を含め、対応をした件数は、子育て支援課と児童相談所を合わせて約200件あった。このほか、児童相談につながるきっかけは育児不安などの子育てに関する相談や女性相談など、実際には家庭の問題が多岐におよぶため、受け付けた各担当課でも対応している状況がある。

虐待が発生しやすい要因となる養育力不足や経済的困窮、親の心身の健康状態などの家庭背景を踏まえた養育支援を行い、未然に防いでいく必要がある。

【すこやか親子層】

出雲市の乳幼児健診受診率および乳児訪問率は約 99 パーセントを維持しており、気軽に育児の相談ができ、安心して子育てできる環境を今後も充実していく必要がある。

健診未受診対策や未訪問家庭の状況把握、子育て家庭が、人や支援とつながりながら、孤立することなく育児ができるまちづくりを進めていくことが虐待の未然予防に必要である。

以上の層を念頭に、虐待のない出雲市の子育て支援事業の推進を考える。

2. 子ども・子育て支援事業について、今後利用する人の数や施設の数（「量の見込み」、実施しようとする地域子ども・子育て支援事業の内容及びその実施時期を検討する。

(1) 策定する上での検討課題

a) 量の見込み

- ・現在の利用状況、ニーズ調査結果をもとに、需要量を見込む。

b) 確保の内容及び実施時期

- ・量の見込みに対応するよう、事業ごとに地域子ども・子育て支援事業の確保の内容及び実施時期を検討。

(2) 策定イメージ

地域子育て支援拠点事業	1 年目	2 年目	3 年目	...
①量の見込み	70,000 人(10 施設)	70,000 人(10 施設)	70,000 人(10 施設)	...
②確保の内容	70,000 人(10 施設)	70,000 人(10 施設)	70,000 人(10 施設)	...
②－①	0	0	0	...

放課後児童健全育成事業	1 年目	2 年目	3 年目	...
①量の見込み	1,500 人(44 施設)	1,500 人(44 施設)	1,500 人(44 施設)	...
②確保の内容	1,500 人(44 施設)	1,500 人(44 施設)	1,500 人(44 施設)	...
②－①	0	0	0	...

- ・ ⇒ 事業ごとに作成

・

・

3. 出雲市子ども・子育て支援事業計画の策定に関する任意記載事項の検討

- (1) 産後の休業及び育児休業後に円滑に教育・保育施設等が利用できるよう、休業中の保護者に対して情報提供等を行っていくこと等を検討。
- (2) 児童虐待防止対策の充実や、母子家庭及び父子家庭の自立支援の推進など、子どもに関する専門的な知識及び技術を要する支援に関する都道府県が行う施策との連携に関する事項及び各市町村の実情に応じた施策を検討。
- (3) 労働者の職業生活と家庭生活との両立が図られるようにするために必要な雇用環境の整備に関する取り組みを検討。
 - ・労働者、事業主、住民の理解促進
 - ・具体的な実現方法の周知のための広報・啓発
 - ・好事例の収集・提供等
 - ・企業における研修の実施等
 - ・仕事と生活の調和の実現に積極的に取り組む企業の表彰等